

# 小郡駐屯地空気調節装置保守点検表

(令和6年度)

チリングユニット点検表			
点検項目	点検及び保守内容	判定	備考
1 基礎・固定部	① き裂、沈下等の異常の有無の点検。		
	② 固定金具の劣化、固定ボルトの緩みの有無の点検。		
	③ 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無の点検。		
2 外観の状況			
ア 本体	腐食、変形、破損等の劣化の有無点検		
イ 保冷材	損傷及び脱落の有無の点検。		
3 内部の状況			
ア 熱交換機	ファンコイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。		
4 付属品			
ア 温度計及び 圧力計	① 正常値を指示していることの点検。		
	② 取付け部等の漏れの有無の点検。		
	③ 汚れ及び損傷の有無の点検。		
イ 安全弁	漏れの有無及び作動の良否の点検。		
5 電気系統			
ア 操作及び動力 回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認。		
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検。		
ウ クラカケヒーター	① 温度の異常の有無の点検。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認。		
エ 盤	異物の付着、緩み及び変形の有無の点検。		
オ 電磁開閉器	劣化の有無、異音の有無の点検。		
カ 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。		
	② 接地抵抗を測定し、その良否の確認。		
6 保安装置			
ア 圧力開閉器	設定値で作動することを確認する。		
イ 吐出ガス温度 サーモ	作動の良否を点検する。		

チリングユニット点検表			
点検項目	点検及び保守内容	判定	備考
ウ 断水リレー	作動の良否を確認する。		
エ インターロック	作動の良否を確認する。		
オ 冷水凍結防止サーモ	作動の良否を確認する。		
カ 可溶栓	変形、破損等の有無を点検する。		
7 冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。		
	② 配管の損傷・接触・摩耗・腐食・へこみ等の劣化の有無を点検する。		
8 潤滑油系統	油の汚れの有無及び油量の適否の点検する。		
9 冷水及び冷却水系統	① 漏れの有無を点検する。		
	② 弁の開閉の良否を点検する。		
10 排水	通水試験を行い、流れに支障のないことを確認する。		
11 運転調整			
ア 音及び振動	異常のないことを確認。		
イ 主電源電圧及び電流	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。		
	② 主電流及び圧縮機電流が規定値内にあることを確認する。		
ウ 冷媒ガス	高圧側及び低圧側の圧力、温度等の冷媒ガスの状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。		
エ 冷凍機油	油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にあることを確認する。		
オ 熱交換状況	冷媒の液温、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。		
カ 自動制御	温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で確実に作動することの確認。		

冷却塔			
点検項目	点検及び保守内容	判定	備考
1 基礎	① き裂、沈下等の異常の有無を点検する。		
	② 基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。		
	③ 防振装置の損傷等の劣化の有無を点検する。		
	④ 防振装置スットパーの緩み及び劣化の有無を点検する。		
2 外観の状況			
ア 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。		
イ 散水装置	① 損傷、変形、錆及び汚れの有無点検。		
	② 散水穴の目詰まりの有無の点検。		
	③ 散水管の回転が円滑であることを確認する。		
ウ 熱交換器 (密閉型に限る)	コイルの汚れ及び損傷等の劣化の有無を点検する。		
エ エリミネーター	損傷及び変形及び目詰まりの有無の点検。		
オ ルーバー	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検。		
カ 充填剤	① スケール等の異物の付着状況を点検する。		
	② 目詰まりの有無を点検する。		
	③ 座屈、変形等の劣化の有無の点検。		
キ 骨組み及び脚	① 損傷、変形及び腐食等の劣化の有無を点検する。		
	② 固定金具の劣化、組立ボルトの緩みを点検する。		
ク 梯子及び点検扉	損傷、変形及び腐食等の劣化の有無を点検する。		
3 水槽			
ア 本体	① 内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。		
	② 水漏れがないことを確認する。		
	③ 水位が規定の位置にあることを確認する。		

冷却塔			
点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容	判 定	備 考
イ 給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。		
ウ ストレーナー	目詰まり及び損傷等の劣化の有無を点検する。		
エ フレキシブルジョイント	接続部の緩み、腐食等の有無の点検。		
4 送風機			
ア 羽根車	① 損傷、腐食等の劣化及び汚れの有無を点検する。		
	② 回転に支障のないことを確認する。		
イ ファンケーシング	損傷、腐食等の劣化の有無を点検。		
ウ 軸受	① 軸が円滑に回転することの確認。		
	② 油量の適否を点検する。		
エ 電動機	① 損傷、腐食等の劣化の有無の点検。		
	② 円滑に回転することを確認する。		
	③ 絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。		
オ ベルト	① 張り具合の適否を点検する。		
	② 損傷、摩耗の劣化の有無を点検。		
カ プーリー	損傷、摩擦等の劣化の有無を点検。		
5 散水ポンプ (密閉型に限る)			
ア 本体	汚れ及び損傷、腐食等の劣化の有無を点検する。		
イ 電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。		
	② 回転方向が正しいことを確認する。		
	③ 電流が定格値内であることを確認する。		
6 凍結防止装置	① サーモスタットが設定値で確実に作動することを確認する。		
	② ヒータの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。		
	③ ヒータの絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。		

冷却塔			
点 検 項 目	点 検 及 び 保 守 内 容	判 定	備 考
7 運転調整	① 電動機の回転方向が正回転であることを確認する。		
	② 音及び振動に異常のないことを確認する。		
	③ 電源電圧の変動が規定内にあることを確認する。		
	④ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。		
	⑤ 散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。		
	⑥ 散水が均一に分解していることを確認する。		
	⑦ 水槽の水位が運転前、運転後の状態で正しいか確認する。		

空冷ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機			
点検項目	点検及び保守内容	判定	備考
1 基礎・固定部	① き裂、沈下等の異常の有無を点検。		
	② 固定金具の劣化、固定ボルトの緩みを点検する。		
	③ 防振材、ストッパー等の劣化、緩みの有無を点検する。		
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検。		
3 冷房切替え	補助電気ヒーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実にを行う。		
4 暖房切替え	補助電気ヒーター、加湿器の電源投入並びに自動制御機器の切替え及び作動確認を行う。		
5 水系統			
ア 加湿用給水	① 弁の開閉を確認する。		
	② 漏れ及び汚れのないことを確認。		
イ ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を確認。		
ウ ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。		
6 電気系統			
ア 操作及び動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認。		
イ 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検。		
ウ 操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。		
エ トラッキングヒーター	通電、発熱状態の異常の有無を確認。		
7 送風機			
ア Vベルト	弛み、亀裂、摩耗等の有無を点検。		
イ 軸受	音、振動等の異常の有無を点検する。		
ウ 羽根	汚れ及び損傷等の有無を点検する。		
キ 電動機	回転方向が正回転であることを確認。		
8 エアフィルター			
ア ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。		
イ 枠	損傷等の劣化の有無を点検する。		

空冷ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機			
点検項目	点検及び保守内容	判定	備考
9 冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。		
	② 配管の損傷等の有無を点検する。		
10 熱交換器	ファンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。		
11 加湿器	① 作動の良否を確認する。		
	② 汚れ、損傷等の有無を点検する。		
12 保安装置			
ア インターロック	① 冷却水ポンプの接点及びフーズスイッチ接点の作動の良否を点検する。		
	② 電気ヒーターの場合、通電は送風運転と連動して作動することを確認する。		
イ 圧力開閉器	作動の旅費を確認する。		
ウ 可溶栓又は安全弁	ガス漏れ及び変形の有無をお点検。		
エ 温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無を点検。		
オ 過熱防止器	作動の良否を確認する。		
カ 圧力計	指示値が正常であることを確認する。		
13 自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御、容量制御等が設定値で作業する。		
14 運転調整			
ア 電源電圧	① 供給電源電圧に異常のないことを確認する。		
	② 運転時における電圧変動が規定値内にあることを確認する。		
ウ 運転電流	① 主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する。		
	② 送風機の電流に異常がないことを確認する。		
	③ 電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。		
	④ 加湿器の電流に異常がないことを確認する。		
エ 冷凍機油	汚損劣化及び油量の適否を点検する。		



空冷ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機			
点検項目	点検及び保守内容	判定	備考
オ 熱交換状況	冷媒、冷却水、温水及び吹き出し空気の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。		
カ 除霜装置	検知作動並びに四方弁動作の良否を点検する。		
キ 音、振動	異常のないことを確認する。		

小形吸収冷温水機ユニット			
点検項目	点検内容	判定	備考
1. 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。		
	② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検。		
2. 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。		
3. 内部の状況			
ア 燃焼室	燃焼室内の汚れを点検する。		
イ 熱交換器	スケール付着の有無を点検する。		
4. 付属品			
ア 付属弁	弁の開閉の良否を点検する。		
5. 動力盤	① 冷房又は暖房の切り換えが正しいことを確認。		
	② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認。		
	③ 作動の良否を点検する。		
6. 機内盤及び遠隔操作盤	作動の良否を点検する。		
7. 電気系統			
ア 操作回路、ヒーター回路及び電動機回路【キャンドポンプ、バーナーモーター】 (30V未満の回路は除く) 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。			
イ 端子	緩み、変色及び損傷の有無を点検する。		
ウ サーマルリレー	キャンドポンプ及びバーナーモーターの設定値を確認。		
エ 温度調節器	所定の設定値で作動することを確認する。		
オ 操作盤内	盤内部の汚れを点検する。		
カ 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。		
	② 必要に応じ接地抵抗を測定し、その良否を確認。		
8. 保安装置			
ア 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認。		
イ インターロック	作動の良否を点検する。		
9. 燃焼装置			
ア 燃焼系統配管及び弁	① (社)日本冷凍空調工業会「ガス吸収冷温水機安全基準」(JRA4004)に定められた方法により漏れの量を確認する。		
	② 弁の開閉の良否を確認する。		
イ 燃焼監視制御装置	作動の良否を点検する。		
ウ バーナー	① 直接点火のバーナーは、点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等の劣化、絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。		

小形吸収冷温水機ユニット			
点検項目	点検内容	判定	備考
エ 火災検知器	① 光電セル又は紫外線検出方式は、受光面の汚れ、亀裂等の有無並びに絶縁の良否を確認する。		
	② フレームロッドの整流方式は、汚れ、絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。		
10. 冷温水及び冷却水系統	① 出口及び入口の圧力損失が規定値にあることを確認する。(暖房時前に限る)		
	② 各水室部に水漏れのないことを確認する。		
	③ 冷却水系の水抜きを確認する。		
11. 運転調整			
ア 音及び振動	異常のないことを確認する。		
イ 電流及び電圧	① 運転時における主電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。		
	② 運転電流が規定値以下であることを確認する。		
ウ 温度制御	設定温度で作動することを確認する。		
エ 燃焼状態	① 正常に着火することを確認する。		
	② フレーム電流を測定し、その良否を確認する。		
	③ 排ガス中の酸素濃度及び一酸化炭素濃度、排ガス温度、ドラフト、燃料圧力、燃料消費量等を測定し、その値が規定の許容範囲内にあることを確認する。なお、油だきはスモークスケールの有無を点検する。		
オ 電動機	回転方向が正しいことを確認する。		
カ 熱交換器	① 冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。		
	② 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。		
12. 真空気密	① 抽気ポンプで機内の不凝縮ガスを採取し、規定値以下にあることを確認する。		
	② パラジウムセル部の焼損及び劣化度を点検する。		
13. 冷媒及び吸収剤	① 溶液に汚れのないことを確認する。		